

## 投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (課長補佐兼河川開発係長 渡邊弘昌)	内線	4408 (4433)
------	-------------------	---------------------	------------------------------------	----	----------------

事業種目	ダム事業	事業採択年度	H6		現 計 画	再評価時点
事業名	西紀生活貯水池建設事業	着工年度	H15	総事業費	54億円	50億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	15.3億円	9.2億円
事業区間	篠山市栗柄			完成予定年度	H21	H17
所在地	一級河川由良川水系滝の尻川（篠山市）			進 捗 率 (内用補進捗率)	18%(0%)	5%(0%)
事業の目的			事業内容			
滝の尻川沿川の洪水被害を防除し、河川環境の保全等に必要な維持流量の確保及び既得取水の安定化を図るとともに、篠山市に対して新たに日量1,000m3の水道用水の取水を可能にする。			形 式：重力式コンクリートダム ダ ム 高：26.7m 堤 体 積：38.6千m3 総貯水容量：383千m3 治水安全度：1/30			
進捗状況	平成6年度に事業採択後、地形測量・地質調査・環境調査・設計等を進めており、平成15年9月には地元地権者と用地補償基準を妥結したので、年度内に用地買収を完了する予定である。 今後は、平成16年度から付替道路等の工事に着手して、平成20年度の完成を目標に、平成18年度の本体工事着手を目指す。					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>滝の尻川沿川を含む春日、西紀両町においては、平成2年9月の台風19号による大雨で、床下浸水98戸等の浸水被害を受けており、早期の治水対策が必要である。また、篠山市の西紀中簡易水道事業の水道水源は浅井戸とため池であり、渇水時に取水が困難な状況が生じており、安定水源としての西紀ダムが必要である。</li> </ul>					
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li><math>B/C = 1.88</math>                      <math>C'/C = 1.38</math></li> <li>地元地権者と用地補償基準を妥結しており、順次用地契約を進めている。また、地元住民は、「西紀ダム建設促進協議会」を組織して、早期完成を要望しており、協力体制が十分整っている。</li> <li>篠山市は、ボーリング調査等により他の水源を探したが見つからず、ダム以外に水源開発の方法はない。</li> </ul>					
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>動植物等の調査結果と学識経験者からの指導をもとに、切土法面の緑化には在来種を用い、水没する貴重種については移植や種子を採取し播種をするなど、保全対策を行いながら事業を進めることとしている。</li> <li>西紀ダムの不特定利水容量を設けており、渇水時においても水生動物の生息に必要な河川流量を確保することが出来る。</li> </ul>					
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>滝の尻川の治水安全度は低く、西紀ダムによる抜本的な治水対策が必要である。</li> <li>篠山市は、ダムの完成に合わせて浄水場等の整備を平成12年度から進め、既に浄水場も完成し、配水設備の整備を残すのみとなっている。両施設が一体となった効果の発現に向け、西紀ダムの早期完成を図る必要がある。</li> </ul>					
再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。			